

農村工学技術研修の開催(2024年7月号)

技術移転部技術研修室

1. 農村工学専門技術研修（経済効果Ⅰ．理論）の実施

6月17日（月）～21日（金）の期間、参加人数68名（国：13名、道府県：35名、土地連20名）で実施しました。

研修内容は、費用対効果分析、政策評価、効果計測手法、各種経済効果の算定等に関する講義等を行いました。

なお、本研修は、効果算定業務等を担当することとなる都道府県・土地連職員の受講希望者が多く、毎年募集定員を上回る応募があるため（今年度は約130名の応募あり）、今年度は定員を昨年の40名から60名へ増やし、講義形式についても集合研修からオンライン研修に変更しました。

2. 農村工学専門技術研修（ダム機能保全Ⅱ）の実施

6月25日（火）～28日（金）の期間、参加人数8名（国：5名、県：2名、土地連1名）で実施しました。

研修内容は、堤体の安全管理、耐震性照査等に関する講義及び機能診断に関する現地実習等を行いました。

現地実習は茨城県の御前山ダム及び栃木県の菅又調整池で行いました。御前山ダムでは事業実施中の関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所の職員から事業概要やダムの構造等について説明を受けました。





ダム機能保全Ⅱ研修 現地実習状況